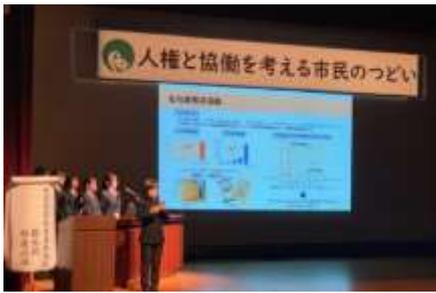


2月4日加東市が「人権と協働を考える市民のつどい」を開催し、本校生活科学科が市民活動の一環として支援いただいていることから活動内容の報告をさせていただきました。



加東市産もち麦を使った商品開発や市民健康調査から見てきた課題から考えるもち麦普及について、さらにはSDG'sと関連付けた活動についての報告でした。本校の発表が最後でしたので、講評をいただいたのですが、「加東市の誇り」と賞賛していただきました。発表自体は3年生地方創生班の活動を短縮した内容でしたが、発表の度に同じ内容でなく、構成を考えるなどその場に応じた内容で発表していることに感心しました。1・2年生が引き継いでいくこととなりますが、自分たちらしい発想で取り組んでいって欲しいです。3年生の皆さんお疲れ様でした。



2月4日からは、バレーとバスケットの県新人大会が行われました。バスケット女子は、1・2回戦を快勝し、ベスト16に入り、5日にベスト8をかけて神港学園と対戦しましたが、壁は厚かったようです。県総体に向けて課題克服に努め、近畿大会目指して頑張りたいです。バレー女子は、人数が少ないところにインフルエンザでの体調不良者が出て棄権せざるを得なくなりました。残念ではありますが、気持ちを切り替えて総体に向かってください。バレー男子は、4日の初戦、5日の2試合を危なげなく勝ち上がり、6日の準決勝に進出。男子はケガで復帰の遅れている選手はいるようですが、チームの雰囲気は良く、他のチームに全く引けをとらない仕上がりでした。6日の準決勝は神港学園に勝利し、迎えた決勝の相手は神戸学院大学附属高校でした。



決勝は接戦となりましたが、見事勝利を収め優勝。県総体、春高バレー含めてしばらく優勝から遠ざかっていただけに「やってくれたな」という感じです。多くの部が結果を残してくれて嬉しい限りです。この勢いを県総体に持ち込み、全国大会出場を決めて欲しいですね。お疲れ様でした。

また室内競技となった陸上部のU18・U20の全国大会は、藤本選手が三段跳で優勝(写真真ん中)。記



録は屋外の兵庫県高校記録を超えており、この時期の記録としては突出した記録をマーク。シーズンインが楽しみな状況となっています。話を聞くと10月の全日本の試合から跳躍のコツを掴んでハマりだしたそうです。冬の練習でスピードアップも図られ、助走にもスピード感が出てきたようですので、期待が持てそうです。ハードルに出場した選手達もキレの良い動きで、練習の成果が出ているとのことでした。シーズン前の仕上げをしっかりとやって4月以降の試合に臨めるように準備を進めてください。

さらに2月7日から始まる体育科スキー実習の壮行会が開かれ、体育科1・2年生に私から話をさせていただきました。3年ぶりに1・2年生合同での実習に行くことになりました。体育科生として何を望まれているか、しっかりと自覚し、周りを意識しながら行動し、安全に実習を行って欲しい旨を伝えました。ケガのないよう頑張ってください。



また、2月6日からは生活科学科がインターンシップに出かけました。地元企業、事業所のご協力の下、実施できることになりました。職業体験は非常に貴重な体験です。時間を大切にしながら職場の方々にしっかりと業務内容だけでなく、働くということを教えてもらってください。よろしくお願いします。

2月も第1週が終わりました。願書受付も2月7日に終了し、推薦入試、特色選抜を迎えます。ミスのないよう準備を進め、受検生が安心して受検できるようにしたいと思います。そして、感染症もまだまだ落ち着いていません。体調管理と感染防止対策には気を遣って3学期も後半戦頑張ってください。